



横浜市立谷本中学校 学校だより

や も と

「12月号」 令和元年11月29日発行

一日の始まりから

校長 高部 振司

「橘始黄」(たちばな はじめて きばむ)
橘の葉が黄に色づき、早くも師走。
いよいよ年越しと、年迎えの準備が始まります。

雨や出張、急な用事がない限り、朝の日課は正門前の公園に面した道路の掃き掃除です。

と言ってもまだ始めて1年にも満たず、永く続けていらっしゃる地域の方々には、ただただ頭が下がるばかりです。

ここ最近では、落ち葉の色も鮮やかなものが増え、季節の移ろいを感じさせてくれます。

掃き掃除をしながら、登校してくる生徒にあいさつをし、あいさつをされる。一日の良い時間の一つとなっています。



正門階段を彩る、紅く色づいた葉

みなさんは、学校や職場に行くまでに何人の人とあいさつを交わしているでしょうか。

自宅から駅までの道のりには、わが子がお世話になった保育園があります。当時お世話になった先生方の多くは、もう別の保育園に移られてしまいましたが、何人かの先生はまだ在職されています。

毎朝のようにその先生方とすれちがい、あいさつを交わします。

「おはようございます。」、「行ってらっしゃい。」、「行ってきます。」

本当にわずかな時間ですが、よし今日も頑張ろうと思う貴重な時間となります。

あいさつを日々重ねるうち、直接は知らなくても一緒に歩いてくる園の先生方とも顔見知りとなり、その方々ともあいさつをするようにもなりました。

毎朝の掃き掃除を通して、あいさつをする人も増えました。小学生、出勤途中の方、散歩中の方、タクシーの運転士さん、車を止めて短い休憩を取られる業者の方。

ありがたいことです。

自分からあいさつをする、声をかける。初めはうまくいなくても、少しずつ、少しずつ。

あなたの声が誰かの力になります。

ぜひ、大切にしてください。

この4月から生徒のみなさん、保護者の皆様、地域の方々には大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。